

ビジネス情報科 3年A組

教 科	商 業	科目(単位)	ネットワーク管理 (2単位)
使用教科書	ネットワーク管理 (実教出版)		
授 業 形 態	通常授業 ・ 分割授業 ・ TT		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※TT (チームティーティング) とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・教科書を基本としながら、具体的な活用例などを紹介してイメージをしながら学習していきます。
- ・実際にコンピュータを使用して、各種設定や状況 (現状) 確認の仕方など、操作方法を身に付けます。

3 学習の方法

- ・2年次までに学習した、情報系の専門用語の意味を理解した上で、より高度な専門用語の学習をしていきます。2年次までの情報系の専門用語を復習してください。
- ・理解できないことは、そのまましないで必ず質問をしましょう。
- ・身近なところで活用されている言葉や技術などが多く出てきます。普段から情報系の言葉や技術に興味を持って生活してください。
- ・情報処理技術者試験 (国家試験) に関係する分野も多くあります。問題演習を通して国家試験に合格できる知識を身に付けてください。

4 課題・補習について

- ・ノートや課題を定期的に点検します。ノートや課題が未提出・未達成ということは、日々の取り組みが不十分のため、減点になります。
- ・情報処理技術者試験 (国家試験) を受験できるように問題演習を課題として出します。また、放課後等を活用して受験対策も実施します。

5 この授業で取得可能な資格 (検定試験)

- ・情報処理技術者試験 (ITパスポート・情報セキュリティマネジメント・基本情報技術者)

6 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報資産を共有し、保護する環境の提供について実務に即して、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	情報資産を共有し、保護する環境の提供に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指し自ら学び、情報資産を共有し、保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

ビジネス情報科 3年A組

教 科	商 業	科目(単位)	ネットワーク管理 (2単位)
-----	-----	--------	----------------

7 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1章 企業活動と情報通信 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークを活用してのビジネスに関する情報やハードウェアなどの情報資産を共有することの重要性を理解し、情報資産を共有し保護する適切な環境を提供する活動について理解する。 情報共有の重要性について情報通信ネットワークを構築し、情報資産を共有して企業活動を展開している具体的な事例と関連付けて理解する。 	行動観察 課題 提出物
5	第2章 情報通信ネットワー ク的设计・構築と運 用管理	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークに対する要求を分析し、ネットワークの構成、運用計画の策定など情報通信ネットワークを設計する基礎的な方法について理解する。 LANやインターネットの仕組み、LANのアクセス制御の方法や特徴及び代表的な通信プロトコルの概要について理解する。 ネットワークインタフェースの機能、有線LANや無線LANの接続装置、VLAN機能によるネットワークの切り分けを理解する。また、インターネット接続におけるアドレス変換技術の種類と機能について理解する。 情報通信ネットワークの構築に必要な機器を導入するためのハードウェアの選定方法、情報資産を共有するためのソフトウェアの導入や設定方法について理解する。 管理ツールやセキュリティポリシーによるネットワーク管理やユーザー管理などの運用管理の技法を習得し、サーバのパフォーマンス管理やバックアップの設定方法について理解する。 (情報処理技術者試験) 客観的な立場でシステム監査を行うことの重要性や具体的なシステム監査の手順や技法について理解する。 	行動観察 課題 提出物
6			前期中間考査
7			
8			
9			
10			前期末考査
11	第3章 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 情報資産に対する脅威やリスクを理解し、情報セキュリティ管理の目的と重要性について理解する。また、情報セキュリティに対する各種法規や組織的対応について理解する。 情報セキュリティ啓発活動の重要性や、情報セキュリティに対する意識を向上する方策、内部不正や人的ミスによる情報の漏えいを防止する方策など人的対策及び人的要因により問題が発生した際の対応策について、具体的な事例と関連付けて分析し、理解する。 アクセス権の設定と管理、ソフトウェアの脆弱性への対策や暗号化や認証などの技法、無線LANに係る情報セキュリティの確保、マルウェアへの感染を予防するソフトウェアを導入、管理する方法及び技術的対策の実効性を高める方策について理解する。 情報セキュリティ管理に関する知識、技術などを基盤とし、企業活動の改善に対する要求などに基づいた情報資産の保護について、具体的な事例を取り上げた演習を行う。 (情報処理技術者試験) 	行動観察 課題 提出物
12			後期中間考査
1			
2		学年末考査	